



SEADS研修生は鶴岡市内での新規就農を目指し、市内各地で実習を行っています。鶴岡市をはじめ、全国各地から集まった若者をあたたかく御支援ください。

SEADSのホームページはこちらのQRコードからご覧いただけます。

SEADSの2022年がスタート

1月7日、新年の幕開け行事として、研修生とスタッフが一緒に校舎で餅つきを行いました。

もち米は本市民田産の「でわのもち」を使用。臼と杵を用いた昔ながらの方法で、交代しながら計4升の餅をつきました。参加者はつき立ての餅をあんこや納豆、おろし、きなこ、磯部など、思い思いの味で楽しみました。

餅つき後には、校長から新年の挨拶を頂きました。気持ちを新たに、研修生・スタッフが一丸となって、本年の研修、就農に向けた準備に取り組んでいきます。



(つき立ての餅を美味しく頂きました)

野菜の育苗床を作りました



(育苗床を製作している様子)

1月14日、技術向上に繋げる自学の場であるSEADS農場で、野菜の育苗床を作りました。木枠の作成から発泡スチロールの切り出し、熱線の埋め込みなど、全て研修生の手作りです。

今後、メロンやスイカ、トマトなどを育成していく予定です。

漬物づくりに挑戦しました



(キムチ漬け製作の様子)

SEADS農場で収穫した野菜を使い、農産物の加工を学びました。白菜でキムチ、青菜で青菜漬けの加工にチャレンジしました。

伝統的な6次産業でもある漬物づくり。12月9日の下漬けから17日の本漬けまで一貫して取り組みました。

研修生の紹介



佐藤 雅彦さん (鶴岡市出身)
 実習先

羽黒 (水稻)、西郷 (園芸)

水稻とミニトマトを中心に研修しています。実習受入農家では、栽培から収穫・出荷まで一連の作業で農業技術を学べます。また、校舎で行う座学では、経営面などを学習できるので、まさに「両輪」での有意義な研修を行うことができています。



岩田 智久さん (神奈川県出身)
 実習先

羽黒 (水稻)、西郷 (園芸)

実習では先日“雪中軟白ねぎ”の収穫を体験しました。初めて触れましたが、その白さと柔らかさにとっても驚きました。

また、農業経験を積むことや地域を知るため、積極的に農家アルバイトに行くよう心がけています。将来取り組みたい作目を決めるのにも役立ち、良い学びとなっています。